



開式のことば

実行委員長 杉山茂久

国際ロータリー第2780地区竹内ガバナーをお迎えして、春たけなわの佳き日に、湯河原ロータリークラブの創立40周年記念式典を開催する運びとなりました。湯河原町長 米岡幸男様をはじめ、ご来賓の皆様には大変お忙しい中をご臨席賜りまして、誠に有り難うございます。

日比谷会長のもとに実行委員会を組織して、会員各位と共に計画立案し、紆余曲折を経ながらも本日を迎えることができました。後程、発表されますが、記念事業につきましては、会員各位の理解と協力のもとに、40周年に相応しい、有意義な事業を実施することができました。

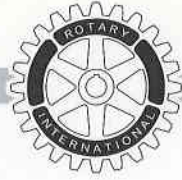
茶道の大成者と言われる千利休は、門人に対して「稽古とは一より習い十を知り、十より返るもとのその一」と説いて、慢心する心を戒め、初心に立ち返ることの大切さを教えております。

ロータリークラブは会員の交流を通して、自己を研鑽する場としての人生道場であると言われておりますが、この周年記念行事は節目節目に、初心に立ち返る良い機会でもあります。

式典の後には、湯河原らしい祝宴をご用意いたしておりますので、ご臨席の皆様には最後までお付き合いいただきまして、ロータリーの友情を深めていただければ幸いです。

本日の式典に当り会員一同、精一杯準備をして参りましたが、何かと至らないことも多いかと存じます。

どうかロータリアンの寛容の精神をもってお許しをお願い申し上げまして、開式のことばとさせていただきます。



湯河原ロータリークラブ 創立40周年にあたり

第40代会長 日比谷 和 志

本日、湯河原ロータリークラブの創立40周年記念式典を開催するに当たりまして、大変お忙しい中を、国際ロータリー、第2780地区の、竹内ガバナー、始め、大勢のご来賓の方々のご臨席を賜り、錦上、花を添えて頂きました事を厚く御礼申し上げる次第でございます。

ここに年、改たまり、2002年、2月には、雪が降り、3月には、風が吹き、4月には、雨が降って、地固まり、この春爛漫の花咲く、佳き日に、我が、ロータリークラブの創立40周年を迎える事が出来ました事は、会員一同、まことに此の上無い、喜びとするところでございます。

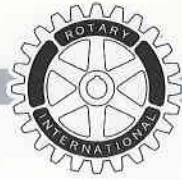
湯河原クラブは、昭和37年4月20日に、小田原ロータリークラブを、スポンサーとして創立をされました。

神奈川県西の、小さなクラブではございますが、近隣クラブの皆様方の、心からなる、御指導と、御協力を頂きながら、又、創立以来、今日まで、歴代会長をはじめ、会員各位の情熱と、たゆまぬ努力に因りまして、歴史と伝統を築いて参りました。

当、クラブに於きましては、温泉観光地としての、環境美化に取り組み、創立10周年には、城山山頂に「モミジ」の植栽、20周年には、湯河原高校に、「ミモザアカシア」の記念植樹を行い、25周年、更に、30周年には、「ツバキの植栽」等を行い、緑化計画を推進し、ささやかではあります、地域社会に果たすべき、役割としての、「社会奉仕活動」を続けて参りました。又、クラブとして、「国際親善奉仕作業」にも、努力しておりますが、これからは、この40周年を、新たな基点とし、今までの過去を振り返るのではなく、これからの新しい時代に、今までの足跡を活かしながら、更に、夢を抱いて、50周年に向けて、ロータリーの友情を大切にしながら、善意の輪を広げ、「奉仕の理想」に、向かって前進する所存でございます。

ここに改めて、ご来賓の皆様方の、一層のご支援と、ご指導を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

有難う御座いました。



湯河原ロータリークラブ 40周年を迎えて

国際ロータリー第2780地区ガバナー
竹内 万也

湯河原ロータリークラブ40周年、心からお祝い申し上げます。貴クラブは1962年（昭37）4月20日小田原ロータリークラブをスポンサーとして呱呱の声をあげられたわけであります。そして、1970年6月には湯河原南クラブをスポンサーされました誠に歴史あるクラブであります。

とりわけ、社会奉仕については、その活動は誠に素晴らしいものがあり、40周年の歴史のなかでも燦然と輝くものであります。環境保全・人間尊重プログラムは見事に地域と密接に結びつき我が地区でも屈指の社会奉仕プログラムを展開されております。これは、他クラブの追随を許さぬものであります。30年前の10周年より、周年毎に、観光温泉地としての美化の見地から環境緑化計画を積極的に推進され、今までにモミジ5000本、ミモザアカシア、ツバキ等の植栽を、進められ、ただ植えるだけではなく毎年周辺の下草刈りや清掃などの奉仕を継続的にやりになっているとうかがっております。この歴史ある、長年観光地湯河原温泉と共に歩んでこられ貴クラブが、会員減少という難題には苦渋されていると思います。昨今、経済が冷え切っておりますが、どうかロータリアンの心だけは冷やさないで下さい。これから、50周年、60周年に向かって、益々クラブの活力を高めなければなりません。そのためには、どうか、この周年を記念し会員増強を推し進めて頂きたいと思うものであります。貴クラブの益々の御発展をお祈り申し上げます。



湯河原ロータリークラブ 創立40周年祝辞

国際ロータリー第2780地区パストガバナー
生 沼 富 治

湯河原ロータリークラブさんの創立40周年に寄せて、会員諸兄とご家族の皆様にご心からお慶びを申し上げます。

湯河原の会員さんは毎週金曜日になると、緑と水に囲まれた静かな例会場集って来られます。靴を脱いで、磨きぬかれた銘木の廊下を踏みしめてしっとりとした会場に入られます。

それをご主人の天野さんが慈むように迎えておられます。湯河原の皆さんは幸いです。自然の中にお行儀がよくなる様子です。ロータリーは人を作る所とか、貴重な例会場でありましょう。

この様な恵まれた環境の中で昭和37年に生を享け、5年10年と順調に成長されて20年そして30年を「あの頃は良かった」「あの時も良かった」などと繰り返しながら、今日の佳き日をお迎えになられました。

湯河原さんは決して大きなクラブではありませんが、大事なことは会員夫々が「真のロータリアン」であることだと思います。

少なれば返って仲間が大切になるでしょう。次第に連帯意識が深まって、固い絆で結ばれるものと思います。天野先輩も「親睦が芽生えれば、お互いに助け合うようになる」と仰言いました。

「意義ある業績賞」も、皆が力を合わせて受彰なさったからこそ喜びも一汐ではと思います。

湯河原は町名からも温さを感じます。岩井先輩の温顔が浮びます。地区大会では表彰部門の先頭に立っての行き届いたご配慮が、受賞者の慶びをより深くされたと同っております。

近藤さんは一年先輩の分区代理さんでした。折に触れての激励に添えて数々のご教示を頂きました。凛とした筆致のお手紙は大切にしております。懐しく有難い思い出ばかりでございます。

先輩方の足跡を辿るように、若い伊藤さんと小松さんが地区に出て立派な業績を積みまれました。流石に湯河原クラブの会員だとの評価を受けられました。今後のご活躍が期待されております。

毎年開催されている会員作品展は魅力的な企画だと思います。家内とお邪魔させて頂いておりますが、会員の皆様の中にゆとりが感じられて愉しめます。詩情豊かな作品も数多く、年毎に腕前も上達されているように感じております。

この作品展と山紅葉の新しい芽吹が一年を教えてくれます。指折り数えながら50年の大きな節目の時が待たれることでしょう。

一層のご精進と皆様のご健勝をご祈念申し上げてお祝いの言葉といたします。



湯河原ロータリークラブ 創立40周年式典祝辞

第9分区代理 山 地 裕 昭

湯河原ロータリークラブが、創立40周年を迎えられましたことを、第9分区のロータリアンを代表して心からお慶び申し上げます。

天野弘之初代会長始め歴代会長方のロータリー精神にのっとりその先見性と指導力の中、会員皆様の親睦と友情に結ばれた行動力により、数々の業績を積み重ねられての大きな喜びと共に、良き思い出が会員皆様の心の中に、今、甦っておられることと拝察いたします。

観光立地湯河原の中で、皆様方が取り組みされてこられた、自然と人間をつなぐ奉仕活動は、この地の特性を進展拡張するに当たって、常に先導力を発揮・維持して来られた特筆すべき活動であります。

この奉仕のエネルギーは、湯河原ロータリークラブの会員一人ひとりの友情と信頼の中に培われた親睦のエネルギーを生み出し、地域に密着した奉仕の実践を推進されていることに心から敬意を表します。

今後も第9分区内の牽引車となっただき、「奉仕の理想」をより広く発展させるべく、共に手を取り合って活動していきましょう。

最後になりましたが、湯河原ロータリークラブの益々の繁栄と、会員皆様のご健勝をご祈念申し上げます。粗辞ではございますがお祝いの言葉にさせていただきます。



湯河原ロータリークラブの 40周年をお祝いして

創立時分区代理 岩崎 裕 倅

湯河原ロータリークラブの40周年をお祝致します。35周年の私のお祝の言葉の一番先に、昭和37年4月20日の金曜日。この日は、今日のように、爽やかに晴れて、この頃の湯河原の金曜日の昼下がりには静かで、時々バスの通る音が遠く聞こえる以外は、ウグイスの鳴く声が椎や檜の古木の繁った合間から聞こえて来る。こんな風に35周年の湯河原クラブの創立記念日に、私は記念の想出を書きました。今、40周年を迎えても、やはり、あの創立総会の天野屋の、あの時の風景、出席された人々、中村米平・柳瀬省吾・清野二郎・天野弘之の諸氏加藤福松幹事の姿その声まで、そのままウグイスの声と共に聞こえて来るような気がします。

それから更に5年、絶え間なくロータリーの奉仕、楽しいロータリーの行事等、続けて40年、37年頃は運転手がぐずぐずしていると自分で運転して八亀さんの大きなトンカツ・海老の天井・天ぷら等思い浮かべながら、信用金庫の2階の例会場へ入りました。あの年、私は八つのクラブを推進しました中で、私個人の感想で、最も洗練された最も楽しい最も手数のかからないクラブ、湯河原クラブ。年毎に社会にロータリーに奉仕して40年、私はまだまだ若いと思っていたら、湯河原クラブは一所に私の年も引張って92才にしてしまいました。今少し会員が減少しているようですが、女性会員が入会していただいたら、また楽しいクラブになります。私のクラブには6人おりまして、7月には女性の幹事が誕生します。湯河原ロータリークラブの40年、楽しい思い出の40年、これから何が起きるか知りませんが、いつまでも正しいロータリークラブ、楽しいロータリークラブであることを願っております。湯河原ロータリークラブの行事によく出席していただき、また、私にご協力していただきました柳瀬省吾様、佐久間長吉郎様、湯浅恭三様は故人となられました。私はまだまだ元気で飛びまわっております。私の最も深く印象に残る湯河原ロータリークラブの40周年を改めてお祝致します。



湯河原ロータリークラブ 40周年式典祝辞

スポンサークラブ
小田原ロータリークラブ会長 錦 織 潔

スポンサークラブ会長としてお招きを戴きましたことを先ずはお礼を申し上げます。

ご要請ですので一言お祝いのご挨拶を申し上げさせて戴きます。省みますと、40年前、当時の小田原ロータリークラブ武田周三会長のごとき、1953年1月に創刊された「ロータリーの友」の10周年の記念行事として、湯河原と箱根に新クラブを作る機運が盛りあがりました。湯河原は特別代表として宮坂寛二郎氏が就任し、同年4月20日にクラブが創立されました。爾来増強と拡大に励み、各種奉仕活動を続け今日ここに目出度く40周年を盛大に迎えるになりましたことは、ご同慶の至りと心からお慶び申し上げます。

私は生まれも育ちも真鶴の生粋の真鶴人です。昔は春秋のお彼岸には家から歩いてここ湯河原を通り日金山地藏参りをするのが慣わしで、湯河原には楽しい思い出が幾つもあり、友達もいました。又職業がら各方面の方々にご交誼も頂戴し深い縁があります。

ロータリーに関しては縁あって小田原ロータリークラブに入会させていただきましたが、その後も度々メーキャップに湯河原クラブを訪れ、第9分区で一番の先輩の天野大先輩やクラブの皆さんに大変暖かく迎えて戴きました。これも湯河原の温泉に育まれた、温かい友情の賜物と感謝致して居ります。

湯河原クラブさんは椿ラインの植樹やその後の手入れ等、観光の町湯河原の繁栄の為に大変大きな奉仕をし、貢献してこられたのを直接拝見したり、聞いたりしております。私にとっては他人事でない親しいクラブと思っています。

私達小田原ロータリークラブにはチャーターメンバーは残念ですがお一人もいらっしゃいません。その貴重なお一人天野弘之さんがここ湯河原ロータリーのチャーターメンバーとしておられることに只只感動を覚えるのみです。

今年度のR.I.キング会長は“Mankind is our business”をテーマに私達を指導されています。私達はこの精神に則り、手に手を取り相携えて各方面で奉仕の心を実践、行動をして、ロータリーを高めていきたいと思っております。

大変雑駁でとりとめない話しになりましたが、これからもますますのご交誼をお願いし、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

最後になりましたが、会員の皆様方のご健勝とクラブの更なる発展をお祈り申し上げます。本日はおめでとうございます。

以上